



発行所
 (一社)長野県保育連盟
 長野市若里7-1-7
 TEL026(228)4415
 FAX026(228)9443
 e-mail:kenhoren@khaki.plala.or.jp
 http://horen-nagano.jp/
 題字 海野会長

いっしょに

子どもたちの健やかな育ちのために

長野県 県民文化部 こども・家庭課長 米久保 篤



一般社団法人長野県保育連盟の皆様方には、日頃から子どもた

ちの保育に、たいへん熱心にお取り組みいただくとともに、本県の保育行政の推進に格別のご理解・ご協力をいただいておりますことに、心から敬意と感謝を申し上げます。

さて既にご案内のとおり、長野県では、本年四月から「学びと自治の力」を政策推進のエンジンとする新たな長野県総合五か年計画がスタートいたしました。「学びの県づ

くり」を基本方針の一つに位置付け、こどもから大人まですべての県民の方が主体的に学び、個々のもつ能力を社会の中で発揮する「学びの県」をめざしています。

十年ぶりに改定された「保育所保育指針」においても、保育所が幼児教育を行う施設として位置づけられました。幼児期の教育・保育は、人生の基盤となる重要なものであり、長野県で育つすべての子どもが、幼稚園・保育所・認定こども園など通園する施設にかかわらず、質の高い幼児教育を受けることができるよう取り組んでまいります。本年度は、長野県における幼児教

育の目指す姿を示すため、教育委員会において、新たな幼児教育に関する基本方針を策定するとともに、具体的な取組を推進するためのプラットフォームとなる「信州幼児教育支援センター（仮称）」の設置に向けた調査・研究を進めてまいります。

保育をめぐる現状ですが、長野県では平成十六年以降、保育所等利用待機児童ゼロを維持してきましたが、昨年十月一日と本年四月一日時点で待機児童が生じました。

また、多くの市町村において、全体的子ども人口は減少している中、三歳未満の保育所等入所児童数が増加を続けている状況です。

主な要因は、近年の女性の就業率の上昇や保育士確保の困難化であり、三歳未満児の保育ニーズの拡大に対応するための保育の充実や保護者が希望する場所で利用できるサービスの充実に取り組んでまいります。

また、保育士不足に対応するため、昨年新たに「保育士人材バンク」を設置し、広域的な情報提供や保育士としての就職を希望する方の就職支援を行っています。

併せて、潜在的保育士の再就職を支援するため、返還免除型の貸付を行うほか、保育士の負担を軽減し離職防止を図るため、保育士資格を持たない保育補助者の雇上げを行った施設に対して、雇上費の返還免除型貸付を行っています。

保育所は地域で最も身近な子育て支援機関です。保育の専門機関として、また地域の子育て支援拠点として、その役割は今後一層重要なものになります。

保育所等職員の皆様方には、新たな保育所保育指針等に基づいて、保育所等を利用する子どもたち一人ひとりに、その個性や発達過程に応じた質の高い保育・教育を提供するとともに、子どもの保護者や地域の子育て家庭に対し積極的に関わっていただき、支援していただくことを期待申し上げます。

最後になりますが、一般社団法人長野県保育連盟の今後ますますのご発展をお祈り申し上げます。いさつとさせていただきます。

平成三十年年度の保育関係事業について

長野県県民文化部 こども・家庭課 保育係

長野県保育連盟の皆様方には、日頃から子どもたちに対する質の高い保育の提供や保護者支援に御尽力され、本県の保育行政推進の中核を担っていただいておりますことに、改めて感謝を申し上げます。

県では、子育てしやすい環境を整えるため、「保育対策総合支援事業」等の国庫補助事業の活用や子育て支援総合助成金による県単独補助事業の実施により、市町村等への財政的支援を行うとともに、県庁及び保健福祉事務所に幼保連携推進員、保育専門推進員・相談員を配置して、保育所の運営を側面的に支援しているところ です。

保育関連の事業について、本年度の新規事業や改正点等をご説明させていただきます。

◆医療的ケア児保育支援モデル事業

保育所等において医療的ケア児の受入れを可能とする体制を整備するため、地域生活支援の向上を図ることを目的とした事業をモデル的に実

施します。

対象児童は、医療的ケアの必要な集団生活が可能であると市町村が認めた児童で、対象施設は保育所、認定こども園、小規模保育事業所等で、看護師や認定特定行為業務従事者である保育士等の配置や、研修受講支援等を行うものです。

◆処遇改善加算

民間施設を対象として平成二十九年度から実施している技能・経験を積んだ保育士等に対する処遇改善（処遇改善加算Ⅱ）については、加算額の配分方法が改善されました。

詳細は内閣府の通知をご覧ください。詳しくは内閣府の通知をご覧ください。おきたいと思いますが、概要は次のとおりです。

①副主任保育士等の賃金改善のための加算額である月額四万円について、一部職務分野別リーダーに配分することができる

②①により配分を行う場合には、職務分野別リーダーの賃金改善のための加算について、従来の固定人数

を越えることができる。

③処遇改善等加算Ⅱの加算額については、平成三十四年度までの時限措置として、加算額の総額の二十%については、同一事業所内で施設・事業所をまたぎ配分することが

◆子育て支援総合助成金

市町村が実施する子育て支援に対する県単独の助成を行っていただきます。（中核市を除く）

従前より実施しております「乳児保育支援事業」、「一歳児保育支援事業」、「社会福祉施設代替職員雇用事業」及び「認可外保育施設児童処遇向上事業」につきましては、本年度も引き続き実施します。補助要件等に変更はない予定です。

◆ブロック別児童福祉施設関係者研修会

当研修会は、子どもの「食」を通じた健康づくりの一層の推進を図るため、各県・市町村の児童福祉施設給食指導・栄養関係担当者及び児童福祉施設の給食関係者を中心として毎年実施されています。今年度は、十月十九日（金）に長野市内で開催する予定としています。

市町村の皆さまには、ご協力をお願いすると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

県内でも、女性の就業率の上昇等により三歳未満児の保育所等入所率が上昇しています。また、政府は、「人づくり革命」の実現に向けた基本構想を決定し、幼児教育については、平成三十一年十月から、保育所、認定こども園、幼稚園に通園する三歳から五歳の子どもの保育料を無償化するほか、零歳から二歳の子どもについても、住民税非課税世帯の場合には、保育料の無償化の対象とされま

した。このような社会の動きの中、市町村と共に子育て支援の取組を一層進めてまいりますので、貴連盟の皆様方にも引き続き御支援をいただきますよう、よろしくお願いいたします。



(一社) 長野県保育連盟

平成30年度通常社員総会

平成30年度通常社員総会は、5月21日、長野市において開催されました。

海野会長あいさつ、長野県こども・家庭課の米久保課長様ご祝辞の後、飯島俊勝顧問の叙勲（瑞宝双光章）を祝し、当連盟及び全国保育協議会の慶祝金が、海野会長から贈呈されました。

その後議事に入り、議案はすべて全会一致で承認・可決されました（3～10面参照）。

- 第一号議案 平成29年度事業報告について
- 第二号議案 平成29年度収支決算について
- 第三号議案 平成30年度事業計画(案)について
- 第四号議案 平成30年度収支予算(案)について
- 第五号議案 理事の選任について

海野会長あいさつ

本日はお忙しい中、通常社員総会にお越しただきまして誠にありがとうございます。また、長野県こども・家庭課の米久保課長様にご臨席をいただき、改めてお礼を申しあげます。

現在の保育について様々な課題が山積し、これほど社会の話題になることは今までありませんでした。それが、どちらかというマイナスイメージで伝わり、保育士不足にもつながっているように思われます。養成校の先生方からも、親が保育士養成校への進学を止めたり、卒業しても保育士にならなかつたり、県外に流出していると伺いま

す。皆様も現場で、本当にご苦労をされていると思います。保育連盟として、どのように対応していかねばならないか、痛感しております。

保育の現状に関し色々な要因がありますが、一番は「未満児保育の需要増加」かと思えます。昔は寿退社で、結婚して退職し家庭に入りました。最近は、育児休業が広まってきたことと人材不足から、復職してもらおうようになってきました。このように「働き続けてもらいたい」という要望の中での保育、経済政策の中での保育という位置づけがあります。

もうひとつが、人材の確保ですが、給料が安い、昔の3Kのようなイメージが定着しつつあるのかなと思います。そこに、県外だけでなく、近隣の市町村への流出があります。さらに、小規模保育や企業主導型保育では、「書き物」がないので、そちらに移動するという事も聞いています。いかに復職してもらおうか、離職を止めるかということになります。

そして、我々の保育の質がどうかということとです。実習生は、最新の保育を学んできます。実習に来て「こんな保育しているの?」と思われるのと、その保育所・地域が選択外になってしまいます。昭和の保育をしているのか、一斉保育をしているのか、特に未満児の保育について、それぞれが、人間関係も含めて見直していただく必要があります。「こんな人間関係のところでは、働きたくない」と、試験にも来ないと伺っております。

外的な要因もありますが、半分は私どもの保育そのものが問われているような気がします。

特に未満児の保育に関し、そこをきちんとしておかなければいけないのに、市町村の理解も社会的認識も、集団養育が昔から大切にされてきまし

た。以前は、おじいちゃん、おばあちゃんや近所の人がいっぱいいる中での子育てだったものが、家庭のみになって今の問題が起きています。首長さんや行政が、今でも家庭が昔の地域的な養育力があるものだととして、家庭養育が大事だと思われています。しかも、0～2歳の保育というのがとても大切なのに、「子育ての方が赤ちゃん見てほしいでしょ」という感覚の市町村では、「人が足りないから小規模保育や企業型に任せておけばいいや」ということになります。その保育の質を一切問わず、理解せず、放っておけば3歳になる、大きく

なると思っております。

私も認可保育所においても、未満児は非正規の方が主に担当するということがあるようです。そうすると、代替え引替え担当する人が代わるため、この子の愛着形成が全くできないことになります。こういう保育をしている限り長野県の保育の質は絶対に高くならないと思います。厳しい話になりましたが、相当危機感を感じています。皆様方と、自分たちの保育を見直しながら、もっともっと保育について社会に大切さ、重要さを伝えていかねばいけないと思っております。0～2歳の保育を丁寧に行うことにより、3～5歳の保育も違い、学校に行つてから、さらに社会に出てからも全然違う要素が根づいていきます。本日、皆様とご協議いただきながら、そんなことを進めていかねばと思っております。

長野県保育連盟は、公立、私立の園が一堂に会している県内唯一の団体です。長野県の幼児教育は、ほとんどが保育所で行われており、我々がきちんとしないと長野県全体の人材育成がおかしなものになってしまうと思えます。どうかよろしくお願いたします。

(一社) 長野県保育連盟 平成29年度事業報告

会 議

通常社員総会

(1) 1 平成29年5月22日(月) (長野市 ホテル信濃路)

理事会

(2) 平成29年5月22日(月) (長野市 ホテル信濃路)

第1回理事会

(3) 平成29年5月22日(月) (長野市 ホテル信濃路)

第2回理事会

(4) 平成29年5月22日(月) (長野市 ホテル信濃路)

第3回理事会

(5) 平成30年3月8日(木) (長野市 ホテル信濃路)

監査

(6) 平成29年4月24日(月) (長野市 長野県社会福祉総合センター)

正副会長会議

(7) 平成29年4月24日(月) (長野市 長野県社会福祉総合センター)

各部会、委員会の活動

(8) 平成29年5月22日(月) (長野市 ホテル信濃路)

管理部会

(9) 平成29年9月11日(月) (長野市 ホテル信濃路)

保育部会

(10) 平成29年10月22日(日) (岡谷市 岡谷市文化会館カノラホール)

給食委員会

(11) 平成29年12月27日(水) (長野市 県庁及びホテル国際21)

研修会等

(12) 平成30年3月8日(木) (長野市 ホテル信濃路)

保育所地域子育て塾

(13) 東信地区 平成29年7月15日(土) (東御市文化会館)

演題 「野から支える、子どもの育ち」

(14) 南信地区 平成29年7月1日(土) (駒ヶ根市文化会館(754名参加))

演題 「保育の安全性を守るためにできること」

(15) 北信地区 平成29年7月8日(土) (千曲市更埴文化会館あみずホール(610名参加))

演題 「保育と絵本」

(16) 講師 兵庫県 日野の森保育園 園長

中信地区 平成29年11月18日(土) 瀧 薫先生

演題 「乳幼児の発達を踏まえた保育」

講師 兵庫県 やまぼうし保育園 園長

吉本 和子先生

私立保育所等理事長・所長研修会

平成29年8月29日(火)～30日(水)

諏訪市 浜の湯(75名参加)

行政説明 長野県県民文化部 主事

高波 陽一氏

水口仁都美氏

竹内 勝哉先生

講師 社会福祉法人若竹会 秋和保育園副園長

勝哉先生

「保育を取り巻く最近の情勢について」

講師 (一社) 長野県保育連盟委員長

海野 暁光氏

全国保育協議会、全国保育士会等の研修

教育・保育施設長専門講座

保育人材養成会議

主任保育士・主幹保育教諭特別講座

正副会長セミナー

関東ブロック 保育士の専門性を高める研修会

参加者 第1日 868名、第2日 664名

分科会 会場 岡谷市立神明小学校 教室他

全体会 会場 岡谷市文化会館カノラホール

研究発表 岡谷市主査会・研究発表係

記念講演

演題 「環境構成の理論と実践」

講師 東洋大学 高山 静子先生

第58回関東ブロック保育研究大会 (茨城県 水戸市)

平成29年7月6日(木)～7日(金)

長野県関係発表者等

第2分科会

長野県関係発表者等

発表者 第5分科会 飯田市 瀧江保育園 主任保育士 吉川真有美先生

飯田市 上郷西保育園 主任保育士 後藤 亮児先生

第8分科会

麻績村 麻績保育園 保育士 箕浦みあき先生

麻績村 麻績保育園 主任保育士 塚原 京子先生

全国大会

第61回全国保育研究大会 (兵庫県神戸市)

平成29年11月15日(水)～17日(金)

長野県関係参加者 2名

第51回全国保育士会研究大会 (富山県富山市)

平成29年10月26日(木)～27日(金)

長野県関係参加者 7名

全国・関東ブロックの会議へ参加

全国保育協議会協議員総会

全国保育組織正副会長等会議

全国保育士会委員総会

関東ブロック保育協議会会長会議

関東ブロック保育事業連絡協議会

機関紙「保育しなの」の発行 (広報委員会 3回開催)

第163号(29年6月)、第164号(29年12月)・長野県保育研究大会特集号、第165号(30年3月)発行

保護者向け情報誌「すこやか」の発行

第26号(29年5月)、第27号(29年9月)、第28号(30年1月)発行

保育施策及び予算に関する知事要望等

平成29年12月27日(水) 長野県庁

「保育施策と予算に関する要望書」を提出し、中島恵理副知事及び轟寛逸氏とも・若者担当部長と懇談

保育士養成校との懇談会

平成30年3月8日(木) (長野市 ホテル信濃路)

県内保育士養成校7校(9名)、連盟役員23名参加

保育士等キャリアアップ研修(長野県の指定を受け研修を開催)

保育所地域子育て塾

東信地区 1111人受講、南信地区 55人受講

北信地区 137人受講、中信地区 84人受講

長野県保育研究大会

分科会 207人受講、記念講演 108人受講

その他

ホームページによる情報発信

「食事に関するリーフレット」の改訂、無償配布

保育要録等各種様式の改訂、希望する園等に有償配布

(一社) 長野県保育連盟 平成29年度一般会計決算書

収入決算額 26,056,187円 支出決算額 23,073,807円 差引 2,982,380円 (翌年度へ繰越)

収入の部

(単位:円)

項 目	予算額(A)	決算額(B)	増減(B)-(A)	説 明
負 担 金	18,402,000	18,589,600	187,600	円 所・人 円 保育所 5,000× 555= 2,775,000 従事者 1,500× 7,141= 10,711,500 園 児 100× 48,256= 4,825,600 県社協 500× 555= 277,500
参 加 費	1,600,000	1,968,000	368,000	@2,000×968名:会員 保育研究大会 @3,000× 9名:非会員 @1,000× 1名 @2,000× 2名:取消分
事 業 収 入	1,000,000	1,000,000	0	共同印刷ほか
雑 収 入	385,000	594,594	209,594	全保協等交付金・預金利子
繰 越 金	3,903,000	3,903,993	993	前年度繰越金
合 計	25,290,000	26,056,187	766,187	

支出の部

(単位:円)

項 目	予算額			決算額(B)	差引残額 (A)-(B)	説 明
	当初予算額	流用額	流用後の 予算額(A)			
事 務 費	8,323,000	0	8,323,000	7,859,754	463,246	
職 員 費	6,574,000		6,574,000	6,287,495	286,505	職員2名分給与・手当・社保等
旅 費	150,000		150,000	116,739	33,261	職員旅費
需 用 費	400,000		400,000	397,966	2,034	事務用品・光熱費・コピー代等
役 務 費	500,000	△ 1,000	499,000	371,214	127,786	電話・切手・宅配便等
委 託 料	619,000		619,000	605,340	13,660	決算調整委託料、HP保守委託料
公 課 費	80,000	1,000	81,000	81,000	0	法人県民税、法人市民税、登録免許税
会 議 費	876,000	0	876,000	662,292	213,708	理事会・社員総会、正副会長会議
事 業 費	10,048,000	0	10,048,000	8,192,719	1,855,281	
研究大会費	3,360,000		3,360,000	2,860,494	499,506	保育研究大会(岡谷市)
研 修 費	1,371,000		1,371,000	884,785	486,215	関プロ保育研究大会、教育・保育施設長専門講座等
調査研究費	1,559,000	△ 83,713	1,475,287	1,079,277	396,010	管理部会・保育部会、給食委員会
食事リーフレット 配布事業費	345,000	83,713	428,713	428,713	0	食事リーフレット印刷費
広 報 費	1,444,000		1,444,000	1,281,160	162,840	保育しなの年3回発行
保育所地域 子育て塾	1,280,000		1,280,000	1,177,155	102,845	保育所地域子育て塾(4会場)
表 彰 費	50,000		50,000	12,299	37,701	会長表彰
中央会議費	639,000		639,000	468,836	170,164	全国保育協議会・全国保育士会 関プロ会長会議等
負 担 金	4,276,000	0	4,276,000	4,225,500	50,500	全保協・保育士会、関プロ・県社協等
積 立 金	1,600,000	0	1,600,000	1,600,000	0	平成32年度関東ブロック保育研究大会(長野県当番)準備
予 備 費	167,000	0	167,000	0	167,000	
合 計	25,290,000	0	25,290,000	22,540,265	2,749,735	

(一社) 長野県保育連盟 平成29年度一般会計積立金決算書 (単位:円)

項 目	金 額	備 考
平成28年度末積立金残額	5,201,164	
平成29年度 積立額	1,600,000	一般会計からの繰入
	881	積立金利子
平成29年度取崩し額	0	
平成29年度末積立金残額	6,802,045	

(一社) 長野県保育連盟 平成29年度事業会計決算書

収入決算額 12,425,328円 支出決算額 5,373,408円 差引 7,051,920円 (翌年度へ繰越)

収入の部

(単位:円)

科 目	予算額			決算額(B)	差引残額(B)-(A)	説 明
	当初予算額	流用額	流用後予算額(A)			
共同印刷	2,800,000		2,800,000	3,021,040	221,040	
研究集録費	2,800,000		2,800,000	1,301,870	△ 1,498,130	名鉄観光分 1,132,000 直販分 169,870
予算対策協力金	1,000,000		1,000,000	1,030,269	30,269	
諸 収 入	102,000		102,000	79,573	△ 22,427	図書斡旋 75,739 預金利子(定期) 3,773 預金利子(普通) 61
繰 越 金	6,992,000		6,992,000	6,992,576	576	
合 計	13,694,000		13,694,000	12,425,328	△ 1,268,672	

支出の部

(単位:円)

科 目	予算額			決算額(B)	差引残額(A)-(B)	説 明
	当初予算額	流用額	流用後予算額(A)			
共同印刷	2,800,000		2,800,000	2,581,396	218,604	各種帳票類等印刷費
保育研究大会	2,800,000		2,800,000	1,067,040	1,732,960	研究集録印刷費
予算対策協力金	500,000	15,714	515,714	515,714	0	全保協へ
一般会計繰出金	1,000,000		1,000,000	1,000,000	0	一般会計口座へ
諸 費	6,594,000	△ 15,714	6,578,286	209,258	6,369,028	印刷物等運送費他
合 計	13,694,000	0	13,694,000	5,373,408	8,320,592	

積立資産の部

(単位:円)

項 目	金 額	備 考
定期預金	13,500,000	利払式

(一社) 長野県保育連盟 平成29年度長野県保育災害保障共済会一般会計決算書

収入決算額 1,296,782円 支出決算額 5,630円 差引 1,291,152円 (翌年度へ繰越)

収入の部

(単位:円)

科 目	予算額(A)			決算額(B)	増減(B)-(A)	説 明
	当初予算額	補正額	補正後予算額(A)			
分担金	55,000		55,000	55,000	0	よこうち保育園(第3回)
補助金	0		0	0	0	
雑 収 入	11,000		11,000	1,960	△ 9,040	公社債投信分配金 145 大和円定期利息 1,803 普通預金利子 12
繰 入 金	0		0	0	0	
繰 越 金	1,239,000		1,239,000	1,239,822	822	前年度繰越金
合 計	1,305,000	0	1,305,000	1,296,782	△ 8,218	

支出の部

(単位:円)

科 目	予算額			決算額(B)	差引残額(A)-(B)	説 明
	当初予算額	補正額	補正後予算額(A)			
運 営 費	40,000		40,000	3,682	36,318	
会 議 費	35,000		35,000	0	35,000	
事 務 費	5,000		5,000	3,682	1,318	消耗文具費 3,682
事 業 費	1,000,000		1,000,000	0	1,000,000	
給 付 金	1,000,000		1,000,000	0	1,000,000	
積 立 金	15,000		15,000	1,948	13,052	
積 立 金	15,000		15,000	1,948	13,052	公社債投信等分配金再投資 145 大和円定期利子積立 1,803
予 備 費	250,000		250,000	0	250,000	
合 計	1,305,000	0	1,305,000	5,630	1,299,370	

(一社) 長野県保育連盟 平成29年度長野県保育災害保障共済会積立金決算書 (単位:円)

項 目	残高数量	備 考
前期末現在額(前年度繰越額)	34,179,428	公社債投信 6本 大和ネクスト銀行 円定期預金2本
当期積立額	1,948	
新規積立	0	
公社債投信分配金	145	平成28年度分配金の再投資
大和円定期利息	1,803	
当期取り崩し額	0	
当期末現在額	34,181,376	公社債投信 6本 大和円定期 2本

(一社) 長野県保育連盟平成30年度事業計画

平成29年3月に告示された新たな保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領が1年の周知期間を終え平成30年4月1日から適用されています。新保育所保育指針は、近年の0～2歳児を中心とした保育所利用児童数の増加を踏まえて、0～2歳児の保育に関する記載が充実されていること、保育所が幼児教育の場として積極的に位置づけられていること、家庭や地域と連携した子育て支援の必要性が強調されていること、職員の資質・専門性の向上が求められていることなどがポイントとなっております。保育・教育に携わる先生方には、保育所等の役割がますます重要になっていく状況をしっかりと受け止めていただき、新たな保育所保育指針と向かい合つて学びと理解を深めていただくことが期待されています。

長野県や市町村では、少子化への歯止めをかけ、子どもを産み、育てやすい環境づくりを進めていくために、さまざまな取組みを展開しております。

こうした状況を踏まえまして、一般社団法人長野県保育連盟は、引き続き長野県や市町村の子育て支援対策に積極的に支援、協力をしていくとともに、保育所、認定こども園が地域で担う役割、果たす使命を十分に認識して、園の活動や、保育士・

保育教諭の自己研鑽活動などを支援していくことを目標として、平成30年度においては次の活動方針の下に別表の事業を実施します。

活動方針	内容
1. 子どもの育ちと保護者の子育てを支える	○ 質の高い保育・教育のあり方について研究し実践につなげる。 ○ 保育士、保育教諭の資質・専門性の向上を図る。 ○ 保護者向けの子育て関連情報を発信する。
2. 地域における子育て支援の拡充	○ 地域子育て支援拠点としての機能の充実を図る。 ○ 地域資源（人、物、知恵、環境など）の活用と連携を図る。
3. 子どもをあらゆる災害から守る	○ 施設内、施設周辺の環境を点検し、事故防止に努める。 ○ 子育て不安や児童虐待などに対する支援の充実を図る。 ○ 地域や関係機関との連携を深め、安全な保育環境を確保する。
4. 新たな事業展開等	○ ホームページ、機関紙を活用して情報発信を行う。 ○ 関東ブロック保育協議会会長の事務局を担当する。 ○ 平成32年度関東ブロック保育研究大会実行委員会（仮称）の設立 ○ 保育士等キャリアアップ研修の開催

(別表) 事業

事業名	内容
長野県保育研究大会の開催	第58回長野県保育研究大会（大田市） 保育士等キャリアアップ研修を兼ねる 10月13日～14日
保育所地域子育て塾の開催	東信、南信、中信、北信の県下4地区で開催 保育士等キャリアアップ研修を兼ねる
調査及び研究	管理部会、保育部会、給食委員会で、保育所保育指針の改定を踏まえ、新たに求められる対応などについて調査・研究を進める。
食事に関するリーフレットの配布	子どもの食育の推進に供するため、園児の保護者に対して、年齢別の食事リーフレット（子どもの食事）を無償配布する。
機関紙の発行	連盟の機関紙「保育しなの」を発行（年3回、広報委員会担当）
ホームページの運営・管理	連盟のホームページによる情報発信を行う。
保護者向け情報誌（すこやか）の発行	長野県民新聞社と協力して、保護者向け情報誌「すこやか」を発行し、園児の全保護者に無償配布する。（年3回）
全国及び関東ブロックの大会、会議、研修会への参加	第59回関東ブロック保育研究大会（千葉市） 7月30日～31日 第62回全国保育研究大会（川崎市） 10月24日～26日 第52回全国保育士会研究大会（大分市） 11月7日～8日 関ブロ保育事業連絡協議会（東京都） 9月6日～7日 関ブロ保育士の専門性を高める研修会（新潟県） 未定 全国保育協議会の各種研修会 その他全国並びに関東ブロックの会議・研修会への参加 第61回関東ブロック保育研究大会（長野県当番）開催準備
各種会議の開催	通常社員総会、理事会、正副会長会議の開催
関係団体との連携	関東ブロック保育協議会会長の事務局を担当する。（H29、30） 長野県に「保育施策と予算に関する要望書」を提出する。 県下の保育士養成校と連盟役員の懇談会を開催する。 社会福祉関係団体等が主催する各種会議等に参加する。
参考図書等の斡旋	全国保育協議会等が斡旋する保育に関する図書などの紹介、斡旋
その他	保育園等で使用する保育要録等の共同印刷 その他必要と認められる事業

(一社) 長野県保育連盟 平成30年度一般会計予算書

収入予算額 25,415千円 支出予算額 25,415千円 差引 0千円

収入の部

(単位:千円)

項 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)	説 明
会 費	18,522	18,402	120	保育所 5,000円× 555 所= 2,775 従事者 1,500円× 7,100 人=10,650 園 児 100円× 48,200 人= 4,820 県社協 500円× 555 所= 277
参 加 費	1,800	1,600	200	県研究大会参加費 2,000円× 900人=1,800
事業会計繰入金	1,300	1,000	300	共同印刷、斡旋図書還元利益等
雑 収 入	278	385	△ 107	地方活動費交付金(全保協) 預金利子等
前年度繰越金	3,515	3,903	△ 388	
合 計	25,415	25,290	125	

支出の部

(単位:千円)

項 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)	説 明
事 務 費	8,883	8,323	560	
職 員 費	7,129	6,574	555	職員2名分給与・手当、社会保険料事業主負担分等
旅 費	150	150	0	役職員一般旅費
需 用 費	400	400	0	事務用品、光熱水費、コピー代等
役 務 費	500	500	0	電話料、郵便料、宅配便送料等
委 託 料	619	619	0	決算調整委託料、HP保守委託料等
公 課 費	85	80	5	法人県民税、法人市民税、登録免許税
会 議 費	876	876	0	通常社員総会、理事会、正副会長会議等
事 業 費	10,856	10,048	808	
研究大会費	3,360	3,360	0	保育研究大会(大町市) 講師謝金・旅費、助言者謝金・旅費、開催要綱、 大会資料の印刷、開催地交付金、実行委員会費、委託費等
研 修 費	1,733	1,371	362	関プロ大会・全国大会へ発表者等を派遣 中央研修講座受講補助 (教育・保育施設長専門講座) 関プロ人材養成会議等派遣
調査研究費	1,939	1,559	380	管理部会、保育部会、給食委員会の運営
食事リーフレット 配布事業費	401	345	56	リーフレット(子どもの食事3種類)印刷
広 報 費	1,604	1,444	160	「保育しなの」、「すこやか」の発行(3回)広報委員会
保育所地域子育て塾	1,280	1,280	0	保育所地域子育て塾4地区で開催
表 彰 費	40	50	△ 10	会長表彰(表彰状、記念品)
中央会議費	499	639	△ 140	役職員の全国・関プロ各種会議派遣経費
負 担 金	3,160	4,276	△ 1,116	全国保育協議会会費 関プロ会長会負担金等 長野県社会福祉協議会会費
抛 出 金	1,600	1,600	0	新 第61回関東ブロック保育研究大会実行委員会(仮称)拠出金
予 備 費	40	167	△ 127	
合 計	25,415	25,290	125	

(一社) 長野県保育連盟 平成30年度一般会計積立金予算書

(単位:円)

項 目	金 額	備 考
平成29年度末積立金残額	6,802,045	
平成30年度一般会計からの繰入	0	
積立額 積立金利子	570	平成26・27・28・29年度積立金に対する利子 年0.01%、利子税15.3%
平成30年度取崩し見込額	0	
平成30年度末積立金残額見込額	6,802,615	

(一社) 長野県保育連盟 平成30年度事業会計予算書

収入予算額 12,261千円 支出予算額 12,261千円 差引 0千円

収入の部

(単位：千円)

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)	説 明
共 同 印 刷	2,600	2,800	△ 200	保育要録等
研究集録大会参加費	1,500	2,800	△ 1,300	研究集録 (@2,000円)
予算対策協力金	1,100	1,000	100	
諸 収 入	10	102	△ 92	図書斡旋、利子等
前年度繰越金	7,051	6,992	59	29年度繰越金
合 計	12,261	13,694	△ 1,433	

支出の部

(単位：千円)

科 目	予算額(A)	前年度当初予算額(B)	差引残額(A)-(B)	説 明
共 同 印 刷	2,600	2,800	△ 200	
保育研究大会	1,500	2,800	△ 1,300	
予算対策協力金	550	500	50	
一般会計繰出金	1,300	1,000	300	
諸 費	6,311	6,594	△ 283	
合 計	12,261	13,694	△ 1,433	

積立資産の部

(単位：千円)

項 目	金 額	備 考
定期預金	13,500	利払式

(一社) 長野県保育連盟 平成30年度長野県保育災害保障共済会予算書

収入予算額 1,348千円 支出予算額 1,348千円 差引 0千円

収入の部

(単位：千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	説 明
分 担 金	55	55	0	加入分担金(1園)
補 助 金	0	0	0	
雑 収 入	2	11	△ 9	公社債投信等分配金 預金利子
繰 入 金	0	0	0	
繰 越 金	1,291	1,239	52	前年度繰越金
合 計	1,348	1,305	43	

支出の部

(単位：千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	説 明
運 営 費	40	40	0	
会 議 費	35	35	0	運営委員会、審査委員会
事 務 費	5	5	0	
事 業 費	1,000	1,000	0	
給 付 金	1,000	1,000	0	障害給付金第1級 2件分
積 立 金	2	15	△ 13	
新 規 積 立	0	0	0	
分配金再投資	2	15	△ 13	公社債投信等分配金再投資
予 備 費	306	250	56	
合 計	1,348	1,305	43	

(一社) 長野県保育連盟 平成30年度長野県保育災害保障共済会積立金予算書

(単位：口・円)

項 目	残高数量	備 考
平成29年度末現在額(A)	34,181,376	公社債投信 6本 大和円定期 2本
当期積立	0	
公社債投信分配金	500	平成30年度分配金の再投資見込額
大和円定期利子積立	1,500	平成30年度分利子の積立見込額
合 計(B)	2,000	
当期取崩見込額	0	
平成30年度末見込額(A)+(B)	34,183,376	公社債投信 6本 大和円定期 2本

平成30年度 (一社) 長野県保育連盟 役員・代議員名簿

顧 問

役職名	氏 名	市町村	職名	施設名
顧 問	飯 島 俊 勝	上田市	園 長	芙蓉 保 育 園

正 副 会 長

役職名	氏 名	市町村	職名	施設名	役職名	氏 名	市町村	職名	施設名
会 長	海 野 暁 光	松本市	園 長	認定こども園深志	副会長	武 田 恵 美	中野市	園 長	平 野 保 育 園
副会長	小野塚 千鶴子	上田市	園 長	神科第二保育園	〃	峰 川 暁 見	長野市	園 長	芹田東部保育園
〃	橋 爪 典 子	伊那市	園 長	竜 東 保 育 園	〃	牛 山 まきみ	茅野市	園 長	泉 野 保 育 園
〃	大 山 玲 子	塩尻市	園 長	高 出 保 育 園	〃	鷹 野 正 子	佐久市	園 長	岸 野 保 育 園

理 事

地 区	氏 名	市町村	職名	施設名	地 区	氏 名	市町村	職名	施設名
東 信	渡 辺 義 則	北相木村	園 長	北 相 木 保 育 所	中 信	北 村 弥 生	松川村	園 長	認定こども園松川南保育園
〃	坂 口 洋 美	上田市	園 長	西 丘 保 育 園	〃	小 林 加奈栄	松本市	園 長	波田中央保育園
〃	新 海 美智子	佐久市	園 長	青 沼 保 育 園	〃	中 條 きよみ	大町市	園 長	どんぐり保育園
南 信	池 上 かおり	諏訪市	園 長	豊 田 保 育 園	北 信	牧 あさ子	高山村	園 長	たかやま保育園
〃	高 坂 満智子	駒ヶ根市	園 長	す ず ら ん 保 育 園	〃	湯 本 登美子	長野市	課長補佐	長野市保育・幼稚園課
〃	前 田 千 穂	根羽村	課 長	根 羽 村 住 民 課	〃	花 岡 正 典	長野市	園 長	浅川中央保育園
					〃	内 藤 格	須坂市	理事長	上 高 井 保 育 園

監 事

地 区	氏 名	市町村	職名	施設名	地 区	氏 名	市町村	職名	施設名
東・北信	紅 林 裕 子	上田市	園 長	さ な だ 保 育 園	中・南信	篠 原 ル ミ	茅野市	園 長	米 沢 保 育 園

代 議 員

地 区	氏 名	市町村	職名	施設名	地 区	氏 名	市町村	職名	施設名
南佐久	菊 池 利 恵	北相木村	主 任	北 相 木 保 育 所	上 田	千 野 美恵子	上田市	園 長	豊 殿 保 育 園
北佐久	竹 内 英 雄	御代田町	園 長	やまゆり保育園	岡 谷	上 條 美奈子	岡谷市	園 長	横 川 保 育 園
小 県	山 本 あつ子	長和町	園 長	な が と 保 育 園	飯 田	鈴 木 栄 子	飯田市	園 長	鼎 み つ ば 保 育 園
諏訪郡	三 澤 忍	富士見町	園 長	本 郷 保 育 園	〃	近 藤 政 彰	飯田市	園 長	さ くら 保 育 園
上伊那	百 瀬 麗 子	辰野町	園 長	中 央 保 育 園	諏 訪	後 藤 かおり	諏訪市	園 長	文 出 保 育 園
〃	有 賀 美智代	辰野町	園 長	小 野 保 育 園	須 坂	小 林 庸 高	須坂市	園 長	さかた山風の子保育園
下伊那	高 田 良 明	泰阜村	住 民 福 祉 課 長	住 民 福 祉 課	小 諸	塩 川 英 子	小諸市	園 長	南 保 育 園
〃	北 原 理 恵	豊丘村	園 長	豊 丘 中 央 保 育 園	伊 那	小 牧 徳 子	伊那市	園 長	高 遠 保 育 園
木 曾	森 山 文 子	上松町	セ ン タ ー 長	上 松 町 子 育 て 支 援 セ ン タ ー	〃	井 上 ユ ミ	伊那市	園 長	上 の 原 保 育 園
東筑摩	中 村 聡 子	朝日村	園 長	あ さ ひ 保 育 園	駒ヶ根	清 水 恵 美	駒ヶ根市	園 長	経 塚 保 育 園
北安曇	笠 井 幸 江	池田町	園 長	認 定 こ ど も 園 池 田 保 育 園	中 野	藤 澤 玲 子	中野市	園 長	高 丘 保 育 園
上高井	市 川 孝 子	小布施町	園 長	わ か ば 保 育 園	大 町	原 田 恵 美	大町市	園 長	た け の こ 保 育 園
北 信	大 羽 典 子	木島平村	園 長	お ひ さ ま 保 育 園	飯 山	上 原 香	飯山市	園 長	木 島 保 育 園
上水内	矢 野 泉	飯綱町	園 長	南 部 保 育 園	茅 野	小 池 のり子	茅野市	園 長	み どり ヶ 丘 保 育 園
長野(公)	渡 辺 美穂子	長野市	園 長	豊 野 ひ が し 保 育 園	塩 尻	太 田 里 美	塩尻市	園 長	片 丘 保 育 園
〃	相 原 真由美	長野市	園 長	青 木 島 保 育 園	ちくま	坂 井 智 子	千曲市	園 長	杭 瀬 下 保 育 園
〃(私)	渡 辺 徹	長野市	園 長	古 牧 東 部 保 育 園	佐 久	松 川 たか子	佐久市	園 長	白 田 保 育 園
〃	柳 澤 澄 夫	長野市	園 長	ひ よ し 保 育 園	〃	青 木 杉 子	佐久市	園 長	高 瀬 保 育 園
松 本	田 中 真 澄	松本市	園 長	あ が た 保 育 園	東 御	北 澤 美 良	佐久市	園 長	和 保 育 園
〃	市 川 美千代	松本市	課 長 補 佐	松 本 市 保 育 課	安曇野	中 山 かよ子	安曇野市	園 長	西 穂 高 認 定 こ ど も 園
上 田	塚 田 智 子	上田市	園 長	神 科 第 一 保 育 園					

平成30年度保育関係大会・研修会等日程表

(一社) 長野県保育連盟 2018.4月 現在

行事予定・研修計画	開催月日	開催場所	
大会関係			
第59回 関東ブロック保育研究大会	7月30～31日	千葉県千葉市 幕張メッセ国際会議場	
第62回 全国保育研究大会	10月24～26日	神奈川県川崎市カルツかわさき	
第52回 全国保育士会研究大会	11月7～8日	大分県大分市 iichiko総合文化センター	
研修関係			
全国保育協議会	2018年度 教育・保育施設長専門講座 プログラム(1)	9月2～3日	
	2018年度 教育・保育施設長専門講座 プログラム(2)	31年1月29～31日	
	2018年度 教育・保育施設長専門講座 プログラム(3)	7月18～20日	
	平成30年度 公立保育所等トップセミナー	8月24～25日	
	平成30年度 保育所・認定こども園 保健・衛生専門研修会	6月8～9日	
	保育所・認定こども園リーダーシップセミナー	31年2月【予定】	
	教育・保育施設長専門講座【リカレント研修会】		
	改定保育所保育指針研修会	9月10日	
			隔年開催のため、30年度は開催なし
			東京ベイ幕張ホール(千葉県千葉市)
県保連関係			
第58回 長野県保育研究大会	10月13～14日	大田市仁科台中学校・大田市文化ホール	
保育所地域子育て塾(東 信)	7月7日	上田市丸子セレスホール	
〃 (南 信)	7月28日	岡谷市文化ホール カノラホール	
〃 (中 信)	7月8日	安曇野市豊科公民館ホール	
〃 (北 信)	6月9日	長野市若里文化ホール	
私立保育所等理事長・所長研修会	8月28～29日	諏訪市 浜の湯	
県社協 福祉人材研修センター			
<ul style="list-style-type: none"> ▶福祉職員生涯研修【リーダー課程(保育所等)】 ▶福祉職員生涯研修【新任職員課程(保育所等)】 ▶子育て支援機関三歳未満児担当保育士研修 ▶子育て支援機関障がい児担当保育士研修 ▶保護者支援・子育て支援研修 <p>長野県社協の研修の詳しい開催日程、会場等は 長野県福祉研修実施団体共同サイト【きやりあねっと】http://www.career-net.jp/をご参照ください。 ※冊子【きやりあねっと福祉研修ガイド2018】が県社協より、公立は各市町村へ、私立は各施設へ4月送付されております。 ★お問い合わせ 県社協 福祉人材研修センター 研修担当 ☎026-227-5208</p>			

◎ 研修の日程や会場が変更になることもあります。

※ 新任保育士研修には、臨時・嘱託職員も積極的に参加してください。

※ 県社協主催の研修についても、受講料が必要です。

飯島さんから、「当連盟会長や関プロ会長、全保協副会長を務められたのは、支えてくれた皆さんのおかげであり、代表としていただくことになりました。同時に、保育が認めていただいたものであります。今後も連盟のお役にたてばと思っており、引き続きご支援をお願いしたい。」とあいさつがありました。

心から叙勲をお祝いするとともに、末永いご活躍と連盟へのご指導をお願い申し上げます。

飯島さんは、園長を33年間務めモンテッソーリ教育をベースにした保育を実践してこられました。また、当連盟会長を18年間、関東ブロック協議会長、全国保育協議会副会長を歴任されました。

叙勲を祝し、当連盟及び全国保育協議会の慶祝金が、海野会長から贈呈されました。



飯島顧問叙勲
瑞宝双光章を受章

当連盟顧問の飯島俊勝さん(芙蓉保育園園長)は、平成30年春の叙勲を受章されました。5月2日に阿部県知事から伝達、同10日には皇居宮殿において天皇陛下の謁見を賜りました。

第五十八回 長野県保育研究大会

「すべての人が子どもと子育てに

関わりを持つ社会をめざして」

実行委員長 大町市 若林 きみ子

第五十八回長野県保育研究大会が、十月十三日（土）十四日（日）の二日間にわたり大町市を会場に開催されます。

大町市は、西部に鹿島槍ヶ岳、爺方岳など、北アルプスの雄大な山々が連なり、東部には、四季折々の変化に富んだ美しく豊かな自然に囲まれた昔ながらの里山の風景を残す農村が存在しています。

また、北アルプスを源とする高瀬川、鹿島川等の清冽な流れや青木湖、中綱湖、木崎湖の仁科三湖の豊かな水とともに、黒部ダム・立山黒部アルペンルートや国営アルプスあづみの公園、温泉、博物館などの豊富な観光資源に恵まれ、若一王子神社の子ども流鏑馬や国宝仁科神明宮など、自然と歴史が融合した街となっております。

このような四季折々の美しい自然豊かな山麓の街、大町市には、8つの公立保育園と3つの私立認定こども園・幼稚園、2つの認可外保育施設

設があり、相互が連携・協力しながら、こどもたちの健全な育ちを支えています。

また、平成25年から市教育委員会と関係機関・関係団体等が連携し、「こころづくり（あいさつ・読書・お手伝い）」「からだづくり」（歩き・運動・外遊び）「リズムづくり」（早起き・朝ごはん）の3つを総合的に実践する「きらり大町3プラン」の取り組みを推進しており、公立保育園におきましても「いきいきすこやかに育つ子どもを願って」をメインテーマに掲げ、全園で研究に取り組んできました。

本年度から「新・保育所保育指針」が施行されました。

すべての乳幼児期の子ども達が質の高い保育・教育を受け、円滑に小学校への連携・接続をおこなうためにも、保育者同士がお互いを高めあう研修の場は重要です。

本研究大会の開催にあたり、長野県保育園連盟の皆様のお力添え

をいただきながら、参加されるすべての皆様と共に学び合い、実り多い充実した大会になることを願い、鋭意準備を進めています。
当日は、大勢の皆様にお会いできますことを楽しみに、心よりお待ちしております。



大町市立仁科台中学校



大町市文化会館

保育士養成校との懇談会

「ふれあい保育士体験を通して」

県内7校の保育士養成校と当会役員との懇談会を、3月5日長野市で開催しました。

《海野会長挨拶》

皆様方、お忙しい中ようこそお越しただきました。

これだけ世間に保育のことが話題になるのはなかったのでしょうか。その中で、待機児童対策と共に課題となっておりますが、保育士不足でございます。

養成校の先生方と懇談させていただく中で、より良い保育士を育成して行きたいと思っております。

また、昨年の懇談会でご提案させていただきました、学生さんが、保育実習前に保育士体験をしていただく「ふれあい保育士体験」を実施してくださいと松本短期大学さんと清泉女学院短期大学さんのお話を中心に会を進めたいと思います。よろしくお願いたします。



《松本短期大学 生田先生》

他県では、「プレ実習」として取り組んでいる養成校が多くあります。

厚労省から保育実習1は、1年次の授業が終了しないと出来ないと言われており、2年生になって、いきなり子どもと接したこともない学生が実習に行き、実習記録とか指導記録と格闘し、実習先の人間関係にもまれ耐えられないと実習が中断することが、常日頃問題だと感じておりました。保育士の仕事の素晴らしさに

気付くのは、子どもと触れ合う事が一番だと思います。

そこで昨年保育連盟の保育部会へお邪魔して県下各地区の保育部員の先生へ趣旨のご説明と本学の学生の保育士体験の受け入れをお願いしました。

しかし、自治体まで話が届いていないとか、独自の手続きがあるなど、お願いする側の目論見と、受け入れてくださる側の保育士体験の理解に若干ズレがあると感じました。

これを、体系化して必修科目として取り組んで行きたいと思っております。

《清泉女学院短期大学長谷川先生》

試行錯誤している状況ですが、フィールドワークという形で1年生の夏休みを中心に行われています。

本学も、10年前から自主体験実習という形で、夏休みにボランティア的に保育施設へお邪魔させていただきました。積極的な関わりを持つという意味合いから、現在は保育のフィールドワークを卒業必修科目として位置付けました。

保育者になりたいと漠然と抱いた入学時の思いを2年間の内に本気にしないとイケません。学校側も色々

な仕掛けを作って保育者になりたい気持ちを確認なものに変えて行く。

また、入学して間もない高校生のような学生が、1回目の体験・実習。2回目の体験・実習を繰り返すことによりほぼ全員が保育職に就きます。

本学でも、保育士体験はとても重要と位置付けています。

【眞保連役員】

最近の学生さんは、携帯電話での通話が日常のため、固定電話で、体験のお願いの電話をかける事がとても大変なことです。

受け入れ側の職員一人一人が、今の学生さんを理解し「ふれあい保育士体験」「フィールドワーク」などの名称を県下で統一させ、受け入れる学生さんの性格等を養成校側と密に連絡を取りながら、1つでも不安材料を取り除く努力は必要です。

他の養成校でも「ふれあい保育士体験」を実施しているとお話をいただき、体験の必要性を感じました。養成校の学生さんが長野県の保育士となっていたら、受け入れ側である私達は、養成校とさらなる協力体制を築いて行きましょう。

一人一人を大事な存在として育む

伊那保健福祉事務所 保育専門相談員 宮坂文子

園庭での自由遊びの時間のことで、入園したばかりの外国籍の三歳児が転んで大泣きをしていました。たちまち五、六人の子どもたちが心配そうに周りを取り囲みます。保育士が、わずかに擦りむいた膝小僧の手当てをしました。一向に泣き止む気配はなく、泣き声が園庭に響いていました。すると、「泣くと、よけいに痛くなるよ」と、子どもたちの中から言い聞かせるような声がかかりました。まだ日本語がわからないので、言葉の意味は通じなかったと思いますが、「痛いけど、少しだけ我慢するといよいよ」と、自分が転んでしまった体験を思い起こしながら慰めているようでした。

「泣くと、よけいに痛くなるよ」の言葉は、保育士からかけてもらった体験を再現して、溢れ出たものではないかと思えます。

別の保育園での室内遊びの場面のことです。やはり、転んでしまった三歳児が保育士の膝に抱えられていました。そして、優しく膝小僧を撫

でもらっていました。保育士の掌の温かみに包まれて、泣きそうになるのをこらえているように見えました。保育士の膝の中が安心して身を置く場所になっていました。



傍らに、その様子をじっと見ている友達がいました。保育士に抱えられていた子どもの様子を案じながらも、全身で感じていたのは、保育士の愛情深い接し方ではないかと思

ます。「お母さんごっこ」の遊びをしていた子どもは、母親になったような気持ちで、保育士の対応を見ていたのかもしれない。

保育園では日常的に起きているですが、保育士の愛情豊かに関わっている姿勢が、子どもの情緒の安定に深く影響していることがわかります。

五歳児の保育を参観したときのことで。子どもたちが「カブトムシ」の絵を描いていました。足の細かなギザギザや僅かな色の変化も見逃さないようにと、どの子どもも一生懸命描いていました。ほとんどの子どもが描き終わる頃、一人の女の子が自分の願うイメージのように表現できなかつたことが悔しくて、描くのを止めてロッカーとロッカーの隙間に座り込んでしまいました。保育士は、今までの経験から「自分で立ち直ることができるはず」と、判断して見守っていました。子どもの気持ちに落ち着く時間を確保してくれました。

やがて自由遊びの時間になると、女の子は「一人あやとり」を始めました。座った場所から動こうとしませんが、手指を動かしながら自分の心と向き合い、気持ちの調整をして

いたのだと思います。そのうちに、一人の友達が忍者のようにロッカーに身を隠しながら様子を覗き始めました。声をかけることはないのですが、話しかけてもいい気持ちになっているかどうか、タイミングを計っているようでした。

このような保育参観の様子から、保育士だけでなく、子どもたちも友達の悲しみを自分のことのように受け止めていることが伝わります。保育園では、悲しみや楽しさなど様々な気持ちに共感してくれる保育士や友達存在によって、自分自身の気持ちを安心して表出し、気持ちを調整したり、安定させていく体験を重ねていくことができます。

保育所保育指針解説書に示されている「保育所の役割」に「子どもが様々な人と出会い、関わり、心を通わせる経験を積み重ねることができるよう、乳幼児期にふさわしい生活の場を豊かにつくり上げていくことが重要」とあります。

保育園での生活が生涯にわたる人との信頼関係の基盤を確かに培っています。

保育所保育指針

どう変わったか

北信保健福祉事務所保育専門相談員 宮澤 栄一

新旧指針に使われている

語句数の変化

「保育所保育指針解説」がようやく2月に厚生労働省から出されました。それまでに新旧対照表や参考資料などが出されましたが、どこがどのように変わったかPCで調べてみました。具体的には、新旧保育指針に使われている語句の数を比較。

「厚生労働省 保育関係」で検索、「5保育所保育指針関係」に新旧の資料が数多く掲載されています。(pdfのデータを「高度な検索」をして、語句を指定するとその文書に何件見つかったかと、その場所が表示されます。) なお、旧指針は40ページ(縦書き)、新指針は61ページ(横書き)とおよそ1.5倍に増えたり、2カ所に渡って記述されたりしている事項があるので単純には比較できません。

重要と思われる多くの語句を検索した一覧表(新旧指針のそれぞれの件数と使用例)を作成しましたが、検索した範囲でその中から代表的な語句を以下に示します。

- ① 新出したもの 新↑旧
- ・「午睡」 3↑0

- ・「食品」 3↑0 「食べ物」 2↑0
- ・「伝統」 4↑0
- ・「国旗」 1↑0
- ② 特に多く増加したもの
- ・「乳児」 7↑3
- ・「気付く」 13↑5
- ・「考え」 36↑13
- ・「言葉」 65↑27
- ・「表現」 58↑18
- ・「感覚」 23↑6
- ・「受容」 11↑2
- ・「研修」 22↑4
- ・「専門性」 25↑14

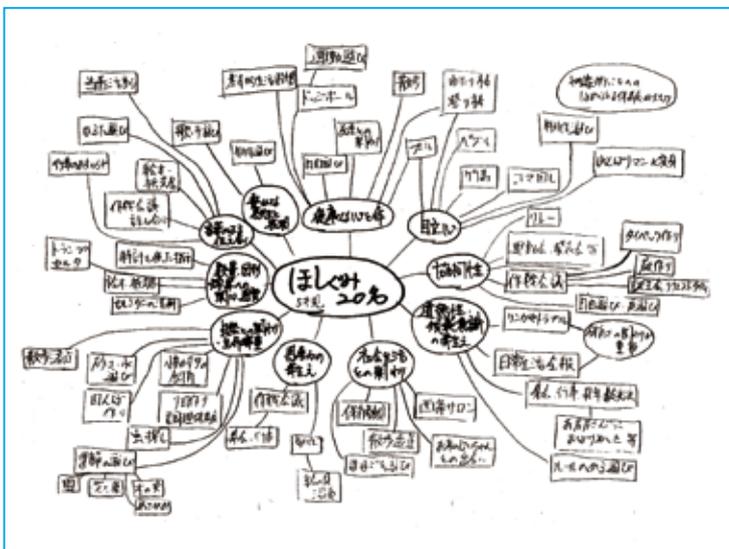
- ③ 減少したもの
- ・「福祉」 9↑11
- ・「指導」 17↑18
- ・「発達」 51↑62
- ・「運動」 6↑9
- ・「一人一人」 37↑39
- ・「自発」 4↑6
- ・「作物」 0↑1

保育指針を知る上で、また本時案やレポートなどを書く際に、語句がどのように使われているか参考になると思います。ただし、語句の数のみから見た上で活用していただければありが

たいです。(興味のある方には、まとめた一覧表資料を送信します。問い合わせてください。)

園内研修を

どのようにすすめるか
昨年度末頃から、各園では新しい保育所保育指針の理解に向けていろいろ工夫された研修がすすんできました。その中から、2つ紹介します。H保育園

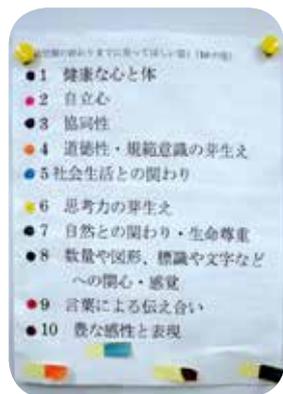


園内研修資料の中、0歳児から5歳児まで「5領域」や「10の姿」からねらいをしつかりもち、1年間の見通しをもって保育に取り組めるよ

うマップ化された図がありました。

M保育園

先生方が集まる部屋に、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が、



揭示されてきました。ただ揭示されているわけではありません。シールと付箋を用いて子どもたちの姿や事例、保育士の願いを色分けして関連付けてありました。

園長先生がリーダーとなって研修を深めようとしている園の雰囲気伝わってきます。

おわりに
子どもたちの歓声と笑顔がいつぱいの保育園訪問が始まりました。

保育園を

とりまく様々な環境が変化していますが、子どもたちのために最善を尽くしていきますましょ



「明日も保育園に行こう!」という保育園に

かわかみ保育園 園長 小林 正一

川上村は、長野県の東の端、群馬県との境に位置しています。夏は高地の冷涼さを生かした高原野菜作り、冬は寒さの厳しい所です。

その村にただひとつの保育園がかわかみ保育園です。かわかみ保育園は、村内に二か所あった保育園の老朽化と村内の子育て世代のニーズの多様化に伴う相談機関への要望等から、二年前に保育園を統合されました。隣には「子育て支援センター」も併設され、村の子育て支援施設の拠点となっています。

園は、建物のいたるところに村のカラマツを使用され、カラマツの美しさを引き出した造りになっています。また、かねてから森林交流のある根羽村産の杉や大桑村産の檜も部屋の壁として活用されています。

今年の園児数は、未満児十四名、以上児九十五名、合計で一一九名です。川上村の特徴として、農繁期である五月、六月ぐらいになると保護者も忙しくなるので未満児が増えて

きます。親に見送られて来て別れる時には、しばらくの間、子どもの泣き声が未満児棟に響いています。

母親の代わりに身近な人となる園の保育士と気持ちを通じ合い、早く「安心」して生活できるようにしてほしいと思っています。

かわかみ保育園は自然豊かな環境に恵まれています。園の前には山が迫り、隣には村営の芝生のグラウンドがあり、少し歩くと特産のレタス畑が広がっています。この環境を活かして、園生活ではレタス畑の周りや山の小道を散歩したり芝の上を裸足で追いかけてこをしたりと、身体を動かすことを多く取り入れています。

春の散歩の時は、道ばたの草や花に興味を示しつつ、時に虫が出てくると子ども達は一齐に虫の周りに群がり、じっと見たり棒で突ついたりしています。なかには、虫取りかごに入れて宝物のように持って帰る子どもいます。小雨の時には、カップ

を着て散歩に出かけます。長靴を履いて水たまりを歩き、水をびちゃびちゃと飛ばしながら大喜びで歩く姿は、実に楽しそうです。雨の日には



雨の日だからこそその発見、楽しみがあります。それも貴重な体験です。

本来、子どもはじっとしてられないものです。聞こえてくるもの、目に入ってくるものに興味を示し、動き始めます。園庭や芝生グラウンドに出て行った子ども達は、自然と鬼あそびやごっこあそびが始まります。内発的な欲求である「動きたい」

という思いを持っている子ども達そんな子ども本来の姿を大切にしながら、園での生活を子どもも保育士も共に楽しんでいきたいと思えます。年長になっても母親と別れることは悲しいです。できればお家で一緒にいた方がいいと思っています。でも、それにも増して保育園に行けばなんか「楽しそうだ」「おもしろそうだ」と感じてくれ、「明日も保育園に行こう!」と思える園になるよう職員全員ががんばっていきます。



泥んこ遊び

もち米作りの活動を通して

駒ヶ根市 下平幼稚園 横山 奈津

下平幼稚園は、地域と密着しており、春には近くのお寺のお花まつりに出かけたり、地域の方々の協力を得て、田畑の活動が盛んな園です。各学年単級という小規模園であり、異年齢の交流もすっかり出来てい

ます。5月の連休明けには、田んぼに入っ
て泥んこ遊びを楽しみます。普段では味わえない体験です。始めは、恐る恐る足を入れていく子ども達。冷たくヌル〜ッとした感覚が苦手な子や、初めて入る年少さんは、顔をしかめながらも、保育者と手をつなぎ慎重に入っていきます。足の指に入ってくる泥の感覚に少しずつ慣れてくると、ダイナミックに動く子も出てきます。春の肌寒さも忘れ、手で泥の感覚を確かめたり、走っているうちに転んで体中泥だらけになることを楽しむ子も出てきます。泥の中を走ると、とても難しいですが、その難しさが子ども達にはおもしろさにつながり、体をしっかり動かす

ことを遊びに変えていく子ども達
の力には、いつも目を見張るものがあ
ります。



泥んこ遊びが終わると田植えで
す。年少さんは土手から応援です。
年中、年長さんが小さな手に苗を
持って植えていきます。泥んこ遊び
の経験があることで、田んぼに入る
足もスムーズでした。子どもが実際
に体験する活動が、次への活動の基

になつていて、強く感じる瞬間
でもあります。苗を3本くらいに分
けて持ち、目印の線に沿って植えて
いく事は至難の業です。時々転んで
しまう子もいますが、バランスを取
りながら植えていく姿が見られま
す。泥に足を取られながらも、必
死に植えていく事で、もち米作りの
大変さを感じ、食べられることへの
感謝の心につながっていくと感じま
す。時々、散歩で田んぼの近くを通
り、稲が大きくなっている様子を見
て、秋になると収穫を迎えます。年
中、年長さんが鎌を持ち、交代で稲
を刈っていきます。その時には、刃
物の扱い方、渡し方も一緒に学びな
がら、体験していきます。年長さん
は、昨年の経験を活かし、慣れた手
つきで行い、年中さんは、始めに、
協力してくださる地域の方々に手取
り足取り教えてもらいます。



徐々に手つきも慣れてきて、自分
で刈れるようになるのも、成長の一
場面です。また、年少さんという
と、刈った稲束を、せつせと運ぶ配
達屋さんに変身です。



どの年齢の子も、自分の役割を理
解し、頑張っている姿は、頼もしく
感じます。収穫した稲は保護者会の
役員のお父さん方と一緒に、秋のも
ちつき会で、おもちをついて美味し
くいただきます。

遊びから農業体験を通して、食を
地域の方々と共に感じる事が出来
る子ども達は、本当に幸せな事だと
感じます。季節や食育を肌で感じ、
身をもって体験していくことは、こ
れからの成長のごく小さな一面で
あっても、とても貴重で心に残る思
い出になります。今後も応援し続け
ていきたいと思えます。

豊かな自然に育まれて

安曇野市立明科南認定こども園 園長 二木 宏知



明科南認定こども園は、安曇野市明科の、犀川の合流地点と東山の中間に位置し、北アルプス連峰が一望できる自然豊かな場所にあります。

園庭には、30本余りの桜の大樹があり、今年度は春の訪れが早く、入園式には、満開の桜が新入園児を迎えてくれました。そして、早速、桜の下で遊び出した子どもたちは、桜の花びらを追いかけたり、花びら集めや、「桜のケーキをどうぞ!」と、ごちそう作りが始まりました。



未満児さんは、お散歩に出掛け、高台にある明南小学校前からの、残雪を頂いた北アルプスの雄大な眺めを楽しんで来ます。明南小学校へ昇る歩道橋へ続く園の横の坂道の入口には、地域の皆さんが育てたハナモ

モヤレンギョウ、雪柳の花が彩りよく咲いていて、子どもたちも思わず「きれいだね〜!」そして、「あつ、鳥がいるよ〜!」と、2歳児の男児が気づきました。鳩が畑の豆を食べていたのです。

鳩の動きや、鳴き声を真似て、楽しみます。自然の中では、本物の動物の生きる姿が見られます。本物の姿は、たとえ2歳児であっても、心が動き、気づき、感動し、言葉を発して保育者に伝えようとします。自分で気づいた生きた知識は、子どもたちの心の中に生き続けます。

それから春を探しに、犀川の三川合流地点の河川敷にある自然の中の公園《水辺の楽校》へ向かうと、すき野原の向こうの、御宝田遊水池のまわりで《つくし》を見つけました。ひとしきり、つくし摘みを楽しんで、お家にも春のお土産ができました。御宝田遊水池には、冬になると《白鳥》が飛来し、冬のお散歩の楽しみになります。

そして、3月になると、北帰行で飛び立つ白鳥の姿に、卒園を迎える

年長児の姿が重なり、四季の自然のうつり変わりと共に、子どもたちの成長を感じる事ができます。



温かい春風が、子どもたちの心を、優しく包んでくれます。《つくし》みつけた! 《くも(雲)》ふわふわ。《カモだね》

《サギも》《むし(虫)》がいたよ。《ちようちよ》だ!。《いし(石)》みつけた。子どもたちの、言葉が聞こえてきます。

5月には、菖蒲の花が咲く『あやめ公園』に、お散歩に出掛けます。公園一帯に川辺まで咲き誇る菖蒲の中で遊んで帰った子どもたちの作る、あやめの折り紙の作品は、イメージが心の中に残っているのです、楽しんで作りあげ、クラスの壁面にもみごとな花を咲かせました。6月には地域の《あやめ祭り》も行われ、毎年、お店屋さんごっこも視野に入れて、屋台の準備の様子なども見学しながらのお散歩も楽しんでいきます。又、秋になると《どんぐり》や、松ぼつ

くりの先端が取れるとバラの花に似ていることから《バラぼっくり》と親しんで呼ぶ、ヒマラヤスギの大きな松ぼつくりを拾い集めて、自然物を使った制作を楽しみます。県の水産試験場もある『にじます』は、園の横を流れる前川にも泳ぐ姿が見られます。鴨も親子で泳ぐ練習をする姿も、普段の生活の中で、折に触れて見ることが出来ます。そして、園庭の桜越しに顔を出して子どもたちを見守る《常念岳》が、頼もしく感じられます。



今年度は、年長組さんが《お散歩地図》を作ろうと、張り切って探索しています。安曇野の原風景の残る明科の美しく、豊かな自然の中で育まれたこの《お散歩地図》が、子どもたちを応援し、励ましてくれる存在としてずっと、心の中に残っている事を願います。

畑仕事を通して

友だちとのつながり

小布施町 わかば保育園 傳田 真知子



小布施町は小さな町で町内には、保育園が二園と子ども園が一園あります。保育園では、年長組になると、運動会に向けて鼓隊の練習や運動遊びの成果の発表、小学校とのなかよし学級や年長児が中心に行う畑仕事の活動があります。毎年ご近所の方から畑の一部をお借りして、野菜作りを行っています。

年中組の頃は、子ども同士の関わりが浅く、クラス全体での活動が難しい状態だった。年長組になり、四月、子ども達と畑の草取りをし、保護者の方に畑を耕してもらい畑仕事が始まった。何を育ててみたいかクラスで話し合い、ジャガ芋、長ネギ、夏野菜、かぼちゃ、さつま芋、オクラ、ミニ人参、大根、かぶを植えた。



一人一本ずつペットボトルの蓋に穴をあけジョウロを作ってきてもらい、毎日水くれをした。ある日、「小さい子にもわかるように絵を描いたほうがいいよ」と、畑看板作りをすることに。友だちと協力する

機会を持つとうとグループごと話し合って絵を描いてみよう、提案した。何の野菜の絵を描くか話し合い、グループ全員で一つの絵を描くところもあれば、一枚の紙の中にそれぞれが絵を描くグループもあった。看板が出来上がり畑に立てた。

す子ども達。きゅうりの収穫で「お家にあるきゅうりは持っても痛くないのに、保育園のきゅうりって痛いんだよね」と、日々大切に世話をすることで様々な発見があった。

野菜の収穫は、収穫当番が行った。収穫した野菜を給食で使ってもらったり、クラスで食べた。日替わりで、塩、味噌、醤油味のきゅうりが毎日出てきた。いつの間にか、当番になった子ども達が話し合い、味を決め給食室に伝えるルールが出来上がっていた。収穫の際には、家庭で収穫したことを思い出し、「もうこれ取っていいよ」と、友達に教える子もいた。

秋にさつま芋の収穫をした。大喜びで掘るものの、大きすぎてすぐに掘れないものが出てきた。しばらく様



子を見て保育士が「手伝おうか」と聞くと、「大丈夫、自分たちでやってみる。もし、できなかつたら言う

ね」と、子ども達が集まり掘り続けた。そして、大きなさつま芋が抜けた。「やったー」子ども達は、とても満足げな顔つきだった。収穫した野菜をクラスでも調理することになり、「さつま芋を焼こうよ」とさつま芋をホットプレートで焼いた。大好評で、二回も行った。ネギせんべいやネギお好み焼きも作った。

収穫した野菜がどのくらいとれたかわかったら面白いと思ひ、当番が○印を記入し表にしていった。○印が増えると○の数を数え始めた。大きな数がわからなかった子が、百まで数えられるようになっていった。「先生、百の次って何になるの?」と、百以上の数にも興味を持ち数える子もいた。表を見て、たくさんの野菜が収穫できたことがわかった。

年長児としての多くの活動の中で、様々な経験を通して成長していった。畑仕事では、発見や気付き、五感を使った様々な体験や友だちとの関わりへとつながった。子どもが「やってみよう」と、自ら思える体験をこれからも大切にしていきたいと感じた。

郡 市 別 保 育 所 数 等 の 推 移

平成 30 年 4 月 1 日

郡・市 保育協会	28 年 4 月				29 年 4 月				30 年 4 月			
	市町村数	保育所数			市町村数	保育所数			市町村数	保育所数		
		計	公立	私立		計	公立	私立		計	公立	私立
南 佐 久 郡	6	9	9	0	6	9	9	0	6	9	9	0
北 佐 久 郡	3	8	7	1	3	8	7	1	3	8	7	1
小 県 郡	2	3	3	0	2	3	3	0	2	3	3	0
諏 訪 郡	3	9	9	0	3	9	9	0	3	9	9	0
上 伊 那 郡	6	27	27	0	6	27	27	0	6	27	27	0
下 伊 那 郡	13	31	30	1	13	32	31	1	13	32	31	1
木 曾 郡	6	11	11	0	6	11	11	0	6	11	11	0
東 筑 摩 郡	5	6	6	0	5	6	6	0	5	6	6	0
北 安 曇 郡	4	6	6	0	4	6	6	0	4	6	6	0
上 高 井 郡	2	3	3	0	2	3	3	0	2	3	3	0
北 信 濃 郡	4	8	8	0	4	8	8	0	4	8	8	0
上 水 内 郡	3	9	9	0	3	8	8	0	3	8	8	0
郡 計	57	130	128	2	57	130	128	2	57	130	128	2
長 野 市 (公)	1	33	33	0	1	29	29	0	1	29	29	0
〃 (私)		45	0	45		46	0	46		48	0	48
松 本 市	1	50	43	7	1	50	43	7	1	50	43	7
上 田 市	1	42	32	10	1	42	32	10	1	42	32	10
岡 谷 市	1	16	14	2	1	16	14	2	1	15	13	2
飯 田 市	1	34	18	16	1	33	16	17	1	33	16	17
諏 訪 市	1	15	13	2	1	15	13	2	1	15	13	2
須 坂 市	1	15	10	5	1	15	10	5	1	15	10	5
小 諸 市	1	9	7	2	1	9	7	2	1	9	7	2
伊 那 市	1	21	19	2	1	23	19	4	1	23	19	4
駒 ヶ 根 市	1	12	10	2	1	12	10	2	1	12	10	2
中 野 市	1	12	11	1	1	12	11	1	1	12	11	1
大 町 市	1	8	8	0	1	8	8	0	1	8	8	0
飯 山 市	1	10	9	1	1	9	8	1	1	9	8	1
茅 野 市	1	18	15	3	1	18	15	3	1	18	15	3
塩 尻 市	1	17	15	2	1	17	15	2	1	17	15	2
ち く ま 市	2	21	17	4	2	21	17	4	2	21	17	4
佐 久 市	1	28	19	9	1	24	15	9	1	24	15	9
東 御 市	1	6	5	1	1	6	5	1	1	6	5	1
安 曇 野 市	1	19	18	1	1	20	18	2	1	20	18	2
市 計	20	431	316	115	20	425	305	120	20	427	304	123
合 計	77	561	444	117	77	555	433	122	77	556	432	124
27 年 度	77	564	449	115	(注) 市町村数は、保育所が存在する市町村。 保育所数は、保育連盟加入施設数。 *ちくま保育協会には、坂城町が含まれています。							
26 年 度	77	568	454	114								
25 年 度	77	573	460	113								
24 年 度	77	581	470	111								
23 年 度	77	583	474	109								

編

集

後

記

平成30年度も始まって、もうすぐ3か月が経とうとしています。新入園の子どもたちも保育園生活に慣れ園児らしい顔つきになってきましたね。カエルの声も聞こえ春から夏へと変わるこの時期は、梅雨の季節でもあります。一雨ごとに色を変える紫陽花を見ると、日々成長する子どもたちの姿に重なるて見えます。今日はどんな色かな？鮮やかな日もあれば少しくすんだ日もあります。保育の仕事は本当に大変だけれど、子どもたちの昨日とは違う今日の姿を間近に見たり、聞いたり、感じたりと、他の職業では味わえない経験をさせてもらっています。

太陽がまぶしく輝く暑い夏を目の前に、元氣いっぱいの子どもたちに負けないよう先生方も今のうちにエネルギー蓄えて共にがんばりましょう。

広報委員 森山 文子